

食品ロス削減に向けて私たちにできること

② 余った食材を **活** かす

買い物や家庭での調理や保存を工夫しても、やはり食材の余りは出てしまうもの。そんなとき、食品ロスを減らすためにできることは、食材を誰かに寄付することです。余った食材を「活かす」取り組みをご紹介します。

「ありがとう」の笑顔へ。

企業の取り組みを紹介します

イトーヨーカドー久喜店



イトーヨーカドー久喜店では、店内に入ってすぐのところにフードドライブの回収カゴが設置されています。管理統括マネジャーの青梨さんによると、中には買った商品を入れてくださる方もいて、2週間に1回の回収でカゴ一杯になるときもあるそうです。

回収された食品は、NPO法人フードバンク埼玉を経て、県内のフードパントリーや子ども食堂へ行きわたります。

特売で買った缶詰や、いただいたお菓子がたくさん余っている…。ご家庭のそんな「もったいない」食品を、必要としている人に届けるフードドライブ・ポストの活動が広がっています。

市では、包括協定を結ぶ第一生命保険株式会社との協力のもと、10月24日・25日に市本庁舎および各総合支所で「久喜市フードドライブ」を実施しました。

フードドライブは多くの団体・企業などで実施されており、全国的に動きが広がっています。

フードドライブ
の活動が広がっています。

久喜市フードドライブでご寄付いただいた食品。計1,287点もの食品が集まり、市内のフードパントリー、子ども食堂の活動団体へ寄付しました。

